



11熊野神社〔喰丸〕

喰丸地区寺坂地内に祀られています。ご神体は伊邪那岐命・伊邪那美命、他一宮が合祀されており、村社の称号を持ち地域の鎮守様として親しまれています。舞台装置もあり古風な景観は本来の神社の風格を漂わせています。この近辺の村社や郷社の称号を持つ神社は、会津藩主・保科正之が治世する領域内の集落に合祀制度をとらせて、散在する守り神を一堂に集めて鎮守にしたといわれます。



12諏訪神社〔佐倉〕

佐倉地区内に祀られており、ご神体は武御名方命一宮で、地域の鎮守様として崇められてきましたが、現在の社殿の一部は近年建造されたものです。



13気多神社〔小中津川〕

小中津川地区宮原地内に祀られています。合祀祭神は大己貴命ほか一宮で、村社の称号を持ちます。門前には豪華な赤鳥居が立ち、本殿に向かって左に近年改修を終えたばかりの舞台を擁しており、コケラ落としに檜枝岐歌舞伎が上演された文化財でもあります。鎮守様では他の追従を許さない風格があり、山間の昭和村には珍しい平地に建てられた神社です。



14熊野神社〔下中津川〕

下中津川地区熊野堂地内にあります。合祀祭神は事解男命ほか二宮で、末社は雷神社・若木神社・山神社・稲荷神社・淡島神社、村社の称号をもちます。昭和26年に起こった下中津川大火で社殿が全焼しましたが、その後氏子の人達の懸命な復興で、現在にいたっています。ここも平地に社殿が建造されています。



15春日神社〔中向〕

中向地区上ノ山地内に祀られています。合祀祭神は伊勢の内・外宮のほか六宮で、末宮に雷神社・若木神社・山神社・宗像神社があります。この宮は昭和村唯一の郷社で、昭和末期まで菊池家が神官の職を全うしていましたが、現在は太夫様不在となっています。



16住吉神社〔松山〕

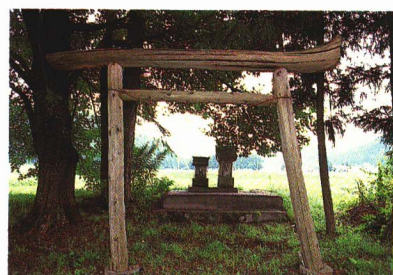
松山地区居平地内に祀られています。三島神社・幸神・於都麻神の三神を移遷して四社神社と称され、表筒男命ほか五宮が合祀祭神となっております。村社の称号があります。

昔、各地の豪族達が一族の守護神として祀っていた社が、保科時代に合祀されたものと思われる。



17稲荷神社〔野尻〕

野尻地区岸地内ですが、地域の人達の住む場所からほど遠いところに鎮座しています。合祀祭神は仁徳天皇ほか三宮で末社に雷神社があります。村社の称号を持ち、お祭りが雪の季節に行われる珍しい風習があります。



18青苧神社〔下中津川〕

下中津川地区四百苧地内に稲荷神社とともに祀られています。文化8年(1811年)建立され、かつては、青苧(からむし)に係わる多くの人々の信仰を集めていました。また安産の神様として、毎年9月28日には栗城氏により直会が行われています。

〈仏閣〉



①仏森山 延命寺〔喰丸〕

曹洞宗の宗門で本尊は釈迦如来。天正4(1576)年、信州の清見師創建。寛文年間(1661~1673)、天寧寺村正法寺(会津若松市)の斧山師によって再建されました。現在は無住職です。